

第7回食品表示連絡会議 議事要旨

1. 日 時：平成26年6月27日 13:00~13:47
2. 場 所：消費者庁62会議室
3. 出席者：（消費者庁）
山崎次長、岡田審議官、菅久審議官、片桐表示対策課長、竹田食品表示企画課長、平山食品表示企画課企画官、渡邊食品表示対策室長
（警察庁）
宮城長官官房審議官、柴山生活経済対策管理官
（国税庁）
上羅長官官房審議官、星屋酒税課長
（農林水産省）
福島消費・安全局審議官、江渡食品表示・規格監視室長
（厚生労働省）
滝本監視安全課長（オブザーバー）
4. 議事要旨
 - (1) 開会
 - 山崎次長から、第7回会議の開催にあたり冒頭挨拶を行った。
 - (2) 「食品表示連絡会議の設置について」の改定について
 - 渡邊食品表示対策室長から、国税庁の本会議への参加等に伴い「食品表示連絡会議の設置について」の改定を行う旨説明を行い、了承された。
 - (3) 食品表示法における監視について
 - 平山食品表示企画課企画官から、食品表示法における監視体制等の検討状況について説明を行った。
 - (4) 食品表示に係る関係省庁間の連携状況について
 - 渡邊食品表示対策室長から、食品表示監視協議会における監視の取組

状況について説明を行った。

(5) 各省庁からの報告

- 片桐表示対策課長から、平成25年度に消費者庁が景品表示法に基づき法的措置を行った食品に係る事案の概要について説明を行った。また、いわゆる健康食品の痩身効果を標ぼうする表示について、専門家の意見等を整理したリーフレットを作成し、普及・啓発に努めている旨の発言があった。
- 柴山生活経済対策管理官から、平成25年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況について説明を行った。また、今後も関係省庁間で早期の情報共有が行えるよう連携を強化していきたい旨の発言があった。
- 江渡食品表示・規格監視室長から、JAS法の品質表示基準の違反に係る指示・命令等の実績及び米トレーサビリティ法に係る指導の実績について説明を行った。
- 星屋酒税課長から、国税庁における酒類の表示の適正化に関する取組、酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律等について説明を行った。

－以上－